



①絵灯籠を見上げる女の子

②スチールドラムとサックスのミニ演奏会もありました

③絵のセンスは子どもならでは

大山寺参道「お盆の大献灯」

絵灯籠やさしく照らす

夏の風物詩、大山寺参道で今

つけた手形で飾られました。

年も「お盆の大献灯」が8月13日から15日にかけて行われ、絵灯籠が訪れた観光客の目を樂しませました。絵灯籠は木製で、

午後7時半ごろ絵灯籠に灯りがともされると描かれた絵がほわっと浮かびあがり、ライトアップされた山門までの道を幻

道沿いの旅館や土産物店の軒先に設置。

今年は町内保育所の子どもたちが描いたスイカや花、魚、花火などの絵や赤やピンクで色を

大山寺参道を訪れた観光客からは「きれい」「この絵、かわいいね」と声が聞こえました。

午前中は、5ヶ月の赤ちゃんから七歳の子どもたちが、お母さんと参加して『あらつてあらつて』『かごかご十六文』などのわらべうたを親子で楽しみました。

お母さんに抱っこされ、うれしそうな笑顔を浮かべて体をゆ

すべうたの魅力を強く感じました。

午後からは大人の部。『きゅうりちゃん』『うちげの金比羅

8月1日を意味しています。一般的には豊作を祈願するお祭りですが、小竹での八朔まつりは

集落にある薬師堂のお祭りとして行われています。小竹には古くから薬師堂があり、九つの仏像がまつられています。小竹・

峯小竹では薬師堂委員を組織して管理しています。起源はよくわかつていませんが、昔から大切に信仰されてきました。

わらべうたを

子どもたちに

8月8日（日）大山町立図書

館主催でわらべうたの講習会がありました。（講師：岡山わらべうたの会 脇本幸子さん）

心ゆくまでわらべうたの温かさを味わいました。

脇本さんは、「わらべうたは母国語の離乳食。人と人との関

わりを育てます」と繰り返し語られました。参加者は「すてきな時間を過ごすことができた」と感想を話していました。

今年はたくさんの子どもたちが集まって、にぎやかな盆踊りとなりました。連日の猛暑で夏バテ気味の体をリフレッシュできましたようです。小竹・峯小竹の両区長も八朔まつりに満足のよ

なりました。病息災を祈願する行事です。

薬師堂に保管してある大きな数珠を首からさげて集落内をまわり、数珠で体をさることで無病息災を祈願する行事です。

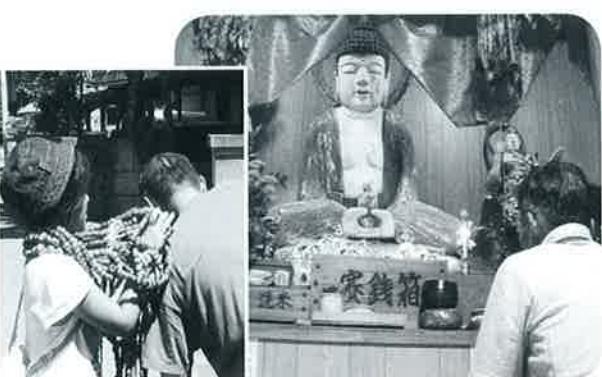


▲自然に笑顔がこぼれます

小竹 八朔まつり

8月7日、小竹・峯小竹の夏祭りとして毎年恒例となっていました。

8月1日を意味しています。一般的には豊作を祈願するお祭り



祭りの前日には、子ども会が

▶数珠でさすって無病息災